

第8号 2018年5月発行 はつかいち市民図書館

4月に新しく入った本

読んだ or 予約したら☑



著者名 **あ行**



「えいたいばし 剣客船頭 19 永代橋の乱」 稲葉稔/著

光文社 2018.3  
BFイ (はつかいち)

女房・千草の店の常連、畳職人の為七が何者かに殺された。いまは船頭となった元定町廻り同心沢村伝次郎は、その下手人探しを手伝っていたところ、二人の侍に襲われる。

「うしゅう とび おにきせる 羽州ぼろ鳶組 4 鬼煙管」 今村翔吾/著

祥伝社 2018.2  
BFイ (はつかいち)

京都西町奉行の長谷川平蔵は、京都を未曾有の大混乱に陥れている火付犯に立ち向かうため、最も頼りにする江戸の火消、松永源吾を京に呼び寄せ真相に迫る。

「きんりづきみやびちよう そうかん 禁裏付雅帳 6 相嵌」 上田秀人/著

徳間書店 2018.4  
BFウ (さいき)

近江坂本へ物見遊山にでかけてはどうか、という武家伝奏の提案に、禁裏付の東城鷹矢は困惑した。間違いなく毘だ。しかし、敵の出方を知るにはまたとない機会です…。

「めし 居酒屋お夏 8 兄弟飯」 岡本さとる/著

幻冬舎 2018.4  
BFオ (はつかいち)

母が死に、十数年ぶりに集まった三兄弟。そんな彼らを待っていたのはお夏の説教だった。しかも母の死の裏には怪しげな奴らの影が見え隠れするという。三兄弟は母の仇を討てるのか？



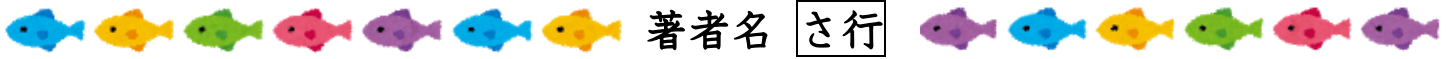
著者名 **か行**



「みみぶくろひちよう しらかねなんばんむすめきつじんじけん 耳袋秘帖 白金南蛮娘殺人事件」 風野真知雄/著

文藝春秋 2018.2  
BFカ (はつかいち)

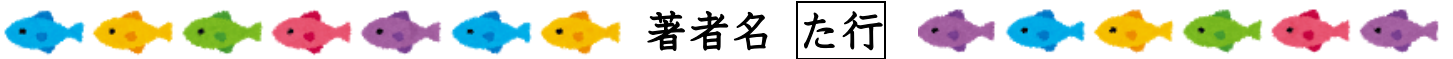
立て続けに裕福な家の若い娘が行方知れずになり、同じころ市中のそこかしこで、金髪の大柄の娘が目撃される。無関係に思えた二つの事件だったが…。殺人事件シリーズ 24 巻。



<input type="checkbox"/> 「鎌倉 <sup>がし</sup> 河岸捕物控 32 流れの勘蔵」 佐伯泰英/著	角川春樹事務所 2018.4 B913.6サ(大野)BFサ(さいき)
<p>板橋宿で分限者や妓楼の子どもばかり狙った拐しがりやが起き、その一味が江戸へ潜り込んだらしい。政次たちは早速動きだすが、そこに影の探索方「八洲方」も参入してきて…。シリーズ完結。</p>	

<input type="checkbox"/> 「居酒屋ぜんや4 さくさくかるめいら」 坂井希久子/著	角川春樹事務所 2018.2 B913.6サ(大野)
<p>林家ではお栄の桃の節句を祝うこととなり、祖父・柳井も声をかけられる。持って行く土産に「贅沢なものは不要」と言われた柳井は、居酒屋「ぜんや」女将・お妙に相談を持ちかける。</p>	

<input type="checkbox"/> 「口入屋 <sup>くちいれや</sup> 用心棒 <sup>ようじんぼう</sup> 40 赤銅色 <sup>しゃくどういろ</sup> の士 <sup>し</sup> 」 鈴木英治/著	双葉社 2018.3 BFス(はつかいち)
<p>乾物屋への強請をとっちめた琢ノ介が襲われた。読売屋「かわせみ屋」の仕業と見られたが、店を継いだ養子・庄之助の評判は良い。しかし、庄之助を探索し始めた岡っ引きが姿を消し…。</p>	



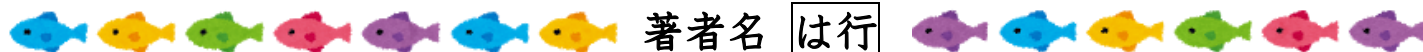
<input type="checkbox"/> 「はなの味ごよみ」 高田在子/著	KADOKAWA 2018.3 B913.6夕(大野)
<p>鎌倉で畑の手伝いをして暮らす「はな」の元に、良太と名乗る男が転がりこんで来る。なんでも旅の途中で掏摸にあつたらしい。だが良太の作った料理は絶品で…。</p>	

<input type="checkbox"/> 「入り婿侍商い帖 大目付御用3」 千野隆司/著	KADOKAWA 2018.3 BFチ(さいき)
<p>かつての敵・佐柄木屋が恩赦で江戸に戻った。時を同じくして、角次郎は政商千種屋の企みがちらつく事件の調査を命じられる。警戒を強める中、舅の善兵衛が暴漢に襲われ…。シリーズ完結。</p>	

<input type="checkbox"/> 「風の市兵衛 <sup>ぎょうてん</sup> 21 暁天 <sup>し</sup> の志」 辻堂魁/著	祥伝社 2018.2 BFツ(はつかいち)
<p>神田青物市場に職を得た唐木市兵衛に吉野山金峯山寺から修験者が訪ねてくる。祖父・忠左右衛門に縁をもち、市兵衛も知らない出自を明かすという。市兵衛は急遽、吉野へ。</p>	

<input type="checkbox"/> 「孫連れ侍裏稼業2 上意」 鳥羽亮/著	幻冬舎 2017.12 BFト(はつかいち)
<p>倅夫婦を殺した敵を追い、孫を伴って出府した伊丹茂兵衛。口入れ屋の裏稼業に手を染めるようになった茂兵衛は、請け負った両替屋の用心棒が運命を左右する大きな転機となった――。</p>	

<input type="checkbox"/> 『八丁堀「 <small>おにひこ</small> 鬼彦組」激闘篇3 <small>かまきり</small> 螻螂の男』鳥羽亮/著	文藝春秋 2018.3 BFト (はつかいち)
賊に襲われ殺された材木問屋の主人に残された傷跡は、鬼彦組の面々が目にしたことの無い形をしていた。さらには3年前の呉服屋殺人事件が浮かんできて…。難敵が奉行所に襲いかかる！	



著者名 は行

<input type="checkbox"/> 「義経暗殺」 平谷美樹/著	双葉社 2018.2 BFヒ (はつかいち)
奥州平泉に落ちのびてきた源義経を巡り、奥州藤原氏一族の意見が対立する中、突如義経が死んだ。平家を打ち破った英雄に何が起きたのか？ 死の真相を平泉の天才役人・清原実俊が追う。	

<input type="checkbox"/> 「江戸の御庭番」 藤井邦夫/著	KADOKAWA 2017.12 BFフ (はつかいち)
江戸の隠密仕事専任の御庭番・倉沢家に婿入りした喬四郎は、將軍吉宗から神田に現れた盗賊牛頭馬頭の始末を命じられる。探索に向かうと盗賊の背後に潜む者がいることを感じ…。	

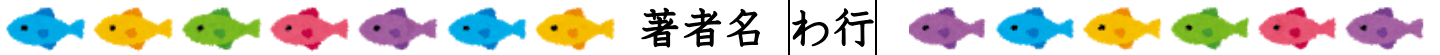
<input type="checkbox"/> 『 <small>ひだま</small> 日溜り <small>かんべ</small> 勘兵衛 <small>えごくいちょう</small> 極意帖』3～10 藤井邦夫/著	双葉社 B 913.67 (大野)
<input type="checkbox"/> 3 「賞金首」 2014.9	
米問屋「井筒屋」の金蔵を破るべく、眠り猫の勘兵衛と故買屋の吉五郎は内偵をはじめが…。	
<input type="checkbox"/> 4 「 <small>にせもの</small> 偽者始末」 2014.11	
“眠り猫”の名を騙る盗賊が現れる。勘兵衛はその正体を暴こうと動き出す…。	
<input type="checkbox"/> 5 「 <small>ぼうはち</small> 忘八仕置」 2015.6	
取手の百姓の娘だというおさきを匿った勘兵衛。江戸に連れてこられた経緯を探ろうとする…。	
<input type="checkbox"/> 6 「盗賊狩り」 2015.10	
立て続けに盗賊を捕縛する矢崎采女正の手腕に疑念を抱いた勘兵衛は、その周辺を探り始める。	
<input type="checkbox"/> 7 「 <small>にせがね</small> 贋金作り」 2016.2	
日本橋両替商「菱屋」の金蔵から小判二百両を盗み出した勘兵衛。だがそれは贋小判で…。	
<input type="checkbox"/> 8 「盗賊の首」 2016.6	
盗賊稼業から足を洗った“仏の宗平”の首を勘兵衛は火盗改の手から奪おうと画策する…。	

□9 「冬の螢」 2016.10

旗本本田家の周辺を嗅ぎ回る浪人・榎本平史郎。平史郎の動きに不信を抱いた勘兵衛は…。

□10 「押込み始末」 2016.11

老舗呉服商越前屋の母屋に忍び込んだ勘兵衛。そのせいで外様の大藩を敵に回すこととなり…。



著者名 **わ行**

□ 「髪結の亭主」 8・9 和久田正明/著

角川春樹事務所  
BF7 (はつかいち)

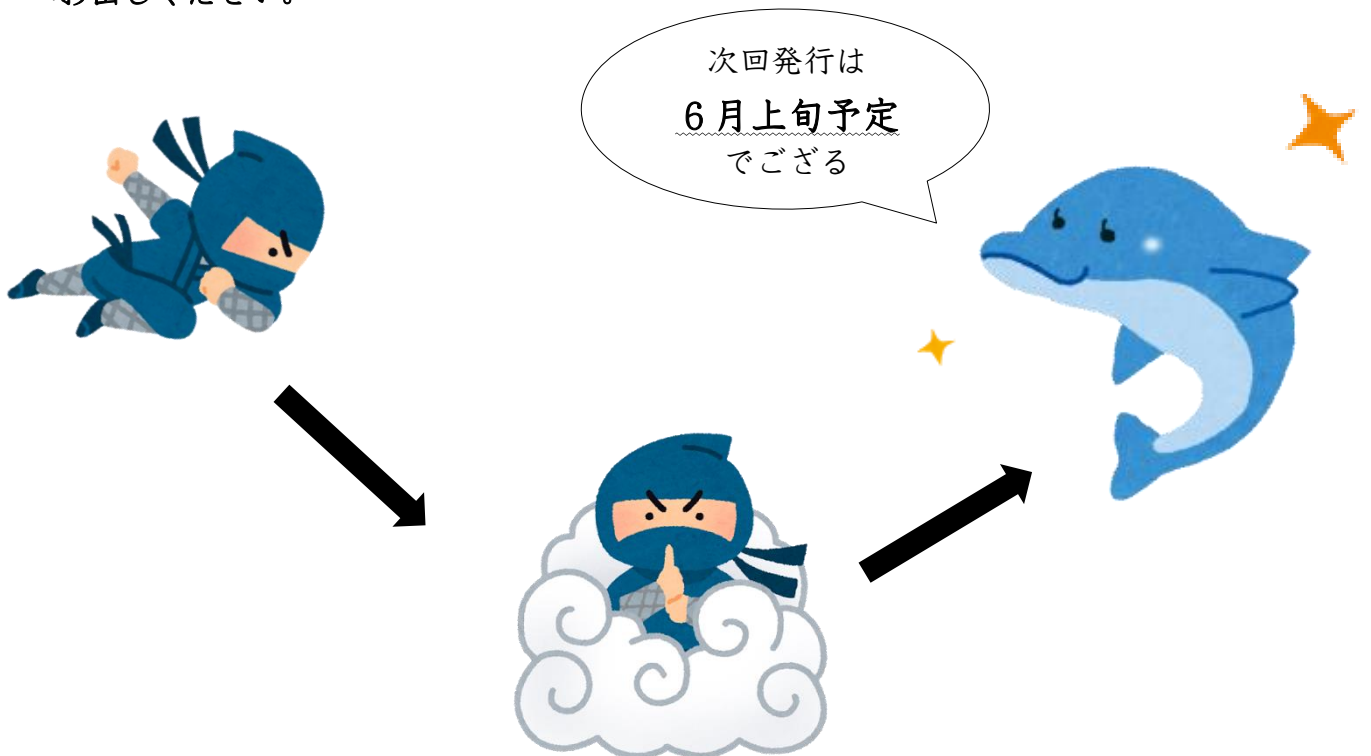
□8 「女と盗賊」 2017.5

忍び込んだ先で殺しを目撃したねずみ小僧次郎吉。気になった次郎吉は百太郎に打ち明けるが…。

□9 「炎の紅襦べにだすき」 2018.2

女岡っ引きのお半は、実は大泥棒ねずみ小僧の妹。そんな彼女のもとに贖金事件が舞い込んで…。

※貸出中の本は予約することができます。「予約・リクエストカード」にご記入の上、カウンターへお出しください。



2018年5月12日発行